

平成28年第4回定例市議会報告

1 日程 【表紙】

12月5日(月)開会

6日(火)一般質問 藤山 議員(未来) 山部 議員(共産)

7日(水)一般質問 満永 議員(自民) 福永 議員(連合)

9日(金)一般質問 浜田 議員(公明) 村上 議員(連合)

13日(火)予算決算委員会(概況説明)、予算決算委員会分科会、部門別常任委員会

16日(金)予算決算委員会(分科会長報告、締めくくり質疑、表決)

20日(火)委員長報告、質疑、討論、表決、閉会

2 本会議(一般質問) 質疑要旨 【P1】

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (1) 中学校夜間学級の設置について | (教育政策課) |
| (2) 学校現場の多忙化解消について | (教育政策課) |
| (3) 小中学校普通教室への空調設備の設置について | (施設課) |
| (4) 県からの権限委譲について | (教職員課) |
| (5) いじめ問題について | (総合支援課) |
| (6) 児童生徒の心のケアについて | (総合支援課) |
| (7) インクルーシブ教育について | (総合支援課) |
| (8) フッ化物洗口について | (健康教育課) |
| (9) 津久井やまゆり園事件について | (人権教育指導室) |

3 予算決算委員会分科会 質疑要旨 4件 【P3】

4 教育市民委員会 質疑要旨 3件 【P4】

5 予算決算委員会(締めくくり質疑) 質疑要旨 【P5】

- | | |
|---------------------|-----------|
| (1) 学校施設等災害復旧経費について | (健康教育課) |
|---------------------|-----------|

6 閉会日(質疑) 質疑要旨 該当なし

2 本会議（一般質問） 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>（教育政策課）</p> <p>中学校夜間学級の設置について</p> <p>設置についての考えを尋ねる。</p>	<p>県が設置する中学校夜間学級調査研究検討会議に市教委担当者が参加しており、中学校夜間学級のニーズ調査や設置にあたっての課題の研究等を行っている。今後も県と連携しながら、調査研究を進める。</p>
<p>学校現場の多忙化解消について</p> <p>学校現場の多忙化解消はどのような状況か。</p>	<p>学校現場の負担軽減事例集の作成・配布や学校教育コンシェルジュの配置により、学校現場の多忙化解消に努めてきた。今後も、小学校における運動部活動の見直しの方針に基づく取組を進め、業務の軽減と効率化や学校運営体制の改善等により、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。</p>
<p>（施設課）</p> <p>小中学校普通教室への空調設備の設置について</p> <p>小学校の残り46校についても、できるだけ早く空調設備を設置してほしい。</p>	<p>小学校の残り46校分についても継続して取り組む必要があるため、現在、国へ強く要望を行なっているところであり、今後も、必要な財源の確保に努め、早期の空調設備の設置に向けて取り組む。</p>
<p>（教職員課）</p> <p>県からの権限委譲について</p> <p>新しく移譲される権限を生かして、どのように本市の小中学校の教育を進めていくのか。県との研修交流も含めて尋ねる。</p>	<p>学級編制基準、教職員定数などを独自に決定することが可能となるため、国庫負担の対象となる定数のもとで、各学校の実態に即した柔軟な職員配置を進める。</p> <p>熊本県との研修交流については、権限移譲後も同様に実施していく予定である。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>(総合支援課)</p> <p>いじめ問題について</p> <p>横浜の事件で得た教訓と今後の具体的な方策について尋ねる。</p>	<p>調査報告書は公開されておらず詳細は明らかではないが、学校の組織的な対応や学校と教育委員会が適切に情報を共有化しきめ細かに対応することの重要性を痛感している。</p> <p>本市は熊本市いじめ防止基本方針にいじめ防止等の対策を掲げ取り組んでおり、今後も、学校、家庭、地域等が連携を深めていじめ問題の細かな対応に努める。</p>
<p>児童生徒の心のケアについて</p> <p>震災に伴う心のケアについて、これまでの調査分析結果と今後の取組について尋ねる。</p>	<p>全小中学生を対象として、9月までに4回の調査を行った。カウンセリングが必要な児童生徒は減少はしているが、半年を経過した後にも新たに必要となる児童生徒がいることがわかった。このことから、心のケアは中長期的に対応しなければならないと考えており、今後も調査を継続的に行いながら適切に対応できる体制を整えていく。</p>
<p>インクルーシブ教育について</p> <p>インクルーシブ教育システム構築における課題と今後の取組について尋ねる。</p>	<p>インクルーシブ教育を推進するために、熊本市特別支援教育推進計画に沿って教職員の専門性の向上、交流や共同学習の推進、学級支援員の配置等を積極的に進めているが、就学等の際、環境整備や支援体制づくりに時間を要する場合もある。教育委員会としては、学校に対し、早期からの教育相談の実施や関係機関との連携、支援体制づくり等を指導している。</p>
<p>(健康教育課)</p> <p>フッ化物洗口について</p> <p>教職員が児童生徒に向き合う時間の確保は喫緊の課題だが、フッ化物洗口の導入に対する市長の見解を伺う。【市長答弁】</p>	<p>単にむし歯を減らすことが目的ではなく、生涯にわたる健康教育の一つとして、自ら健康づくりに取り組むことができる人になってもらいたいとの思いを持って取り組んでいる。</p> <p>学校現場が多忙な状況にあることも十分認識しており、今後も、校区単位の健康まちづくりの一環と位置づけ、地域や保護者の方々の協力をいただきながら取り組んでいく。</p>
<p>(人権教育指導室)</p> <p>津久井やまゆり園事件について</p> <p>事件に対する認識と今後の対応について尋ねる。</p>	<p>熊本市教育大綱で「豊かな心を育む教育の推進」を掲げ、道徳性や思いやりなど、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、障がい者に対する偏見や差別をなくし、障がい者の権利を尊重する人材の育成を目指す。</p>

3 予算決算委員会分科会 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>(学務課)</p> <p>就学援助経費の新入学学用品費前倒し支給について</p> <p>就学援助の新入学学用品費に係る前倒し支給の取組状況はいかがか。</p>	<p>新入学学用品費を3月に支給するため、新小学1年生については入学前健康診断時(10月)に、新中学1年生については12月中にチラシを配布予定である。今後は、熊本市ホームページや市政だよりで周知する。</p>
<p>震災による就学援助について</p> <p>認定状況についてはいかがか。</p>	<p>住家が半壊以上の保護者を対象として、罹災証明書の写しと申立書を提出いただき認定している。また、半壊以上でなくても、震災に伴う失業や倒産等、家計急変の場合も対応している。</p>
<p>(熊本博物館)</p> <p>細川家舟屋形修復等経費について</p> <p>細川家舟屋形修復等経費について、今後のスケジュールはいかがか。また、熊本城天守閣内の分館に残っている資料について、今後どのように対応するのか。</p> <p>細川家舟屋形の搬出や修復については市民の関心も高いので、広報に努めていただきたい。</p>	<p>本年度は設計を行い、平成29年4月から細川家舟屋形の解体と搬出、同年6月から平成30年4月まで天井画等の修復、同年5月頃までに搬入と組立を行う予定である。また、分館内の資料については、カビ等の被害があり、避難の必要性が高いものは既に持ち出している。残る資料については、細川家舟屋形の搬出までに持ち出すこととしている。</p>
<p>(教職員課)</p> <p>研修に参加する場合の取扱いについて</p> <p>複式の特別支援学級の担任は、研修に参加する場合、年休を取得していると聞いたがいかがか。</p>	<p>他校の研究発表会等に参加する場合、公務として認められるものは出張や校外勤務としている。自発的に受講するものは年休取得の場合もある。</p>

4 教育市民委員会 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>(教育政策課)</p> <p>学校施設の鍵の管理について</p> <p>避難所となる学校施設の鍵の管理について、見直しの状況はいかがか。防災倉庫の設置場所の見直しや内容の点検もしていただきたい。</p>	<p>体育館については夜間開放管理人が開錠する体制をとったところであり、さらに、危機管理防災総室と地域担当職員の配置を検討をしている。校舎の鍵の管理も含め、関係部署と協議していく。</p>
<p>(施設課)</p> <p>体育館の復旧について</p> <p>体育館の復旧については卒業式に間に合うように取り組むということだったがいかがか。保護者から学校に多数の問い合わせがあるので、正確な情報を発信していただきたい。</p>	<p>入札不調であった場合も受注可能な業者との随意契約の検討や工事内容の工夫等に努めている。改築する学校についてはその他の施設を借りていただくことになるが、その他の学校については体育館で卒業式が行えるように努める。</p>
<p>(指導課)</p> <p>小中一貫教育について</p> <p>富合小と富合中では小中一貫教育を実施しているが、今後の取組と考え方はいかがか。最近、合併等で公共施設マネジメントの対象となる施設が多くなっており、地域の再編をしなければならぬ時がやってくる。長期計画に基づいた対応をお願いしたい。</p>	<p>本市における小中一貫教育については、富合小と富合中での成果として、英語の学力向上や中1ギャップの解消等が挙げられる。その成果を市全体に広げるため、熊本市小中一貫教育検討委員会で検討を重ねるとともに、江南中と向山小をモデル校に指定し、成果と課題を検証している。今後は小中連携のカリキュラム作成を通し、小中連携を進めていきたい。</p>

5 予算決算委員会（締めくくり質疑） 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>（健康教育課）</p> <p>学校施設等災害復旧経費について</p> <p>日吉共同調理場復旧について、都市ガスが停止した場合にプロパンガスが利用できるよう、機能の改善が図られているか。</p> <p>また、全市的な学校給食調理施設への対応はどうか。</p>	<p>建物本体の地盤沈下からの復旧であり、場内の工事はほとんどないことから、災害復旧国庫補助事業の原則通り、原状復旧で計画している。</p> <p>都市ガスとプロパンガスの切替設備の整備については、プロパンガスのボンベを保管するガス庫の整備や点検を行わなければならないこと、切り替えの際にガス事業者や厨房機器業者の確認を必要としない回転釜等の整備に経費を要すること、これらの設備の導入実績が少なく、運営上有効に機能するかどうかなど、いくつかの課題がある。給食調理施設における炊き出しは発災時の対応として効果があることから、他都市の状況を調査するとともに、設備面のみならず、事業者との連携体制を含めたあり方について検討してまいらる。</p>